

一般建築物石綿含有建材調査者講習 実務経験等証明書

受講資格区分

①

学校教育法による
大学(短期大学を除く)

★建築に関する正規の課程を修め卒業した者

卒業後、建築(建築物の解体又は改修工事を含む)に関する実務経験年数 2年以上

★建築に関する正規の課程又はこれに相当する課程

建築学科等建築学に係る課程が、卒業証明書等で明らかであるほか、建築士法(昭和25年法律第202号)第14条に規定する一級建築士試験の受験資格又は、同法第15条に規定する二級建築士試験及び木造建築士試験の受験資格を得られる学校として公益財団法人建築技術教育普及センターが公表する学校・課程及び独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行する学位授与申請案内中、「建築学」で示す科目数を満たす学校・課程が含まれること。

実務経験証明書の他、必ず添付する証明書類

卒業証明書(★建築に関する正規の課程)を添付してください。

※ 卒業証明書に建築学の学科が明記されていない場合、履修科目証明書等も添付してください。

実務経験証明書作成日	2022	年	11	月	1	日
申込者氏名	山田太郎	役職・ 職位名	課長	卒業の学科名	建築	学科卒業
実務経験年数記入欄						
建築(建築物の解体又は改修工事を含む)に関する実務経験年数						
2012 年 4 月 ~ 2022 年 10 月 (通算の実務 10 年)						
実務経験証明欄						
勤務先所在地	東京都新宿区西新宿7-16-6					上記の実務経験に相違ないことを証明します。 
勤務先事業所名	株式会社ハウジングエージェンシー					
上職者証明	氏名	鈴木太郎	上位役職・職位名	部長		

1. 実務経験年数は、実務経験証明書を作成した月の末日まで積算してください。

2. 過去の実務経験が、現在と異なる勤務先であっても、現在の勤務先の証明で結構です。

3. 実務経験年数の期間は、元号又は西暦どちらで記入されても結構です。

4. 証明者の役職は、原則代表者になりますが、勤務先の上司であっても結構です。

5. 証明印は、会社印又は役職印並びに証明者個人印等を、押印してください。

6. 勤務先所在地等は、ゴム印を使用しても結構です。